

USPTO、審査システム開発のためのコンテストを実施

2011年12月22日

JETRO NY 諸岡

米国特許商標庁 (USPTO) は、NASA Tournament Lab¹と協働し、審査システムのアルゴリズム開発のコンテストを行っている²。

今回開発の対象としているのは、特許明細書のテキスト認識技術、イメージ分析技術等。これらを分離し、テキスト部分とイメージ(図表)部分とを別に表示させることを可能とし、特許明細書の内容把握を容易に行うことを目的としている³。

コンテストは、参加登録をした者が2人1組のチームを形成。そのうえで、チームが複数含まれる「room」と呼ばれる単位を構成して行われる。コンテストの期間(開発期間)は2011年12月16日から2012年1月16日まで。参加登録は900名以上あったが⁴、実際には10~11チームを含むroomが23単位構成されている⁵。

コンテストの賞金総額は\$50,000。全チームの中で1位のチームが\$10,000、2位のチームが\$5,000の賞金を獲得でき、残りの\$35,000はそれぞれのroomに分配され、room内での1位が75%、2位が25%を獲得できるとされている⁶。

優勝者の発表は2012年2月16日に予定されている。

¹ 米航空宇宙局 (NASA) とハーバード大学とにより設立された研究所。システム開発参加を希望する外部のソフトウェア開発者の参加を募り、競わせることによりシステム開発を行っている。NASA のコンピュータシステムの開発を始め多くのプロジェクトを手がけている。

² [NASA Tournament Lab のウェブサイト](#)

³ この背景には、特許明細書のデータが PDF の形式でシステムに格納されているために、文章部分と図面部分とをスクロールしながら読む負担が大きいという点があると推察される。

⁴ [Whitehouse のブログ](#)より

⁵ したがって、実際の参加者は約 500 名程度と推察される。

⁶ ただし、実際の room 毎の賞金は、1 位が\$1,000、2 位が\$350 となったとのこと ([コンテスト参加者のフォーラム](#))。端数が出るためきりの良い額にしたと推察される。

JETRO

(了)